

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 小城市社会福祉協議会

目 次

経理区分	No.	事業名	ページ
法人運営事業	1	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	1
	2	社協会費	2
	3	一般寄付金・香典返し寄付金の受付	3
	4	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行	4
	5	日本赤十字社事務の協力	5
	6	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金	6
地域福祉活動事業	7	民生委員児童委員連絡協議会への支援	7～8
	8	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成	9
	9	新生児祝い品贈呈事業	10
	10	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)	11～12
	11	弁護士無料法律相談の開設	13
	12	第11回小城市福祉大会	14
	13	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)	15
	14	ボランティアセンター事業	16～18
	15	学校ボランティア育成事業	19～20
	16	福祉教育推進事業	21～24
	17	支えあいセンター事業	25～26
福祉資金貸付事業	18	生活福祉資金貸付事業	27
	19	福祉資金貸付事業	28
小城市受託事業	20	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務	29
	21	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)	30
	22	若年性認知症サロン事業(オレンジサロン たいよう)	31
	23	障害者移送サービス事業	32～33
	24	愛の一声運動推進事業	34
	25	高齢者ふれあいサロン事業	35～36
	26	子育て相互支援事業	37～38
	27	地域子育て支援拠点事業	39
	28	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営	40
	29	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営	41
	30	高齢者生きがいづくり講座事業	42
	31	小城・多久障害者相談支援事業	43～44
	32	生活困窮者自立相談支援事業(生活自立支援センター)	45
中部広域連合受託事業	33	南部地域包括支援センター事業(おたっしや本舗小城南)	46～48
介護保険事業	34	居宅介護支援事業	49

法人運営事業

(P 1 ~ P 6)

令和5年度 事業報告

事業名	理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催		
期 日	年間 理事会 4回、評議員会 1回、評議員選任・解任委員会 1回		
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」研修室		
参 加 者	理事、監事、評議員、 評議員選任・解任委員	担当者	事務局長、課長、係長、総務係
目 的	事業計画や予算など、本会の重要な方針を決定する。		
実施内容	◆理事会 ①5月30日(火)(理事 10人、監事 2人) ・会長執務状況報告 ・定時評議員会の招集 ・理事・監事候補者の選定 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・評議員候補者の推薦 ・令和4年度事業報告及び一般会計決算報告 ②6月14日(水)(理事 10人、監事 2人) ・会長の選定 ・副会長の選定 ・令和5年度一般会計第1次補正予算 ③12月8日(金)(理事 10人、監事 2人) ・マイカー通勤規程の制定 ・給与規程の一部改正 ・令和5年度一般会計第2次補正予算 ④3月26日(火)(理事 9人、監事2人) ・会長職務執行状況報告 ・事務局長の選任 ・役員等賠償責任保険の契約 ・給与規程の一部改正 ・令和5年度一般会計第3次補正予算 ・令和6年度事業計画及び一般会計予算 ◆定時評議員会 ①6月14日(水)(評議員 15人) ・理事・監事の選任 ・令和4年度事業報告及び一般会計決算報告 ◆評議員選任・解任委員会 ①6月14日(水)(委員 5人) ・評議員の補欠選任		
特記事項 (課題等)	・令和4年度は会長、副会長の任期満了に伴う選定を行った。 ・安全運転管理の責任の明確化と交通事故防止体制の確立を図るため、マイカー通勤規程を制定した。		

令和5年度 事業報告

事業名	社協会費		
期 日	普通会費(5月)、団体・賛助会費(通年)		
依 頼 先	小城市内各区長、団体代表、企業・事業者代表		
対 象	市内全世帯、各種団体、企業・事業所	担当者	総務係、各支所担当
実施内容	1. 目 的 本会の事業推進に貴重な財源を「社協会員」である地域の皆様に納入していただき、社会福祉事業に参加していただく。		
	2. 内 容 ・市内181行政区の区長へ依頼 ・一世帯あたり400円の戸別会費のお願いをする。 ・社協会費は、児童福祉・高齢者福祉・ボランティア活動支援・地域福祉サービス等に活用する。 ・賛助会費や団体会費を各種団体、企業・事業者をお願いする。		
	3. 実 績		
	【普通会員会費】 一世帯 400円		
		世帯数	金 額
	小城町	4, 139世帯	1, 655, 400円
	三日月町	3, 866世帯	1, 546, 400円
	牛津町	2, 690世帯	1, 076, 000円
	芦刈町	1, 597世帯	638, 800円
	令和5年度 合計	12, 292世帯	4, 916, 600円
	令和4年度 合計	12, 111世帯	4, 844, 400円
	【賛助会費】一口1, 000円(企業・事業者へ依頼) 令和5年度 182, 000円(32件) 令和4年度 173, 000円(30件)		
	【団体会費】一口1, 000円(市内の福祉団体へ依頼) 令和5年度 56, 000円(13団体) 令和4年度 61, 000円(13団体)		
特記事項 (課題等)	・4月28日(金)に行われた区長会議において、納入依頼をした。また、賛助会費や団体会費について、企業や事業所、福祉団体に依頼を行った。 ・会費使途を社協だよりやホームページで報告し、市民の皆様に地域福祉活動へ理解と協力を求めていく。		

令和5年度 事業報告

事業名	一般寄付金・香典返し寄付金の受付		
期 日	通年		
対 象	市内全域	担当者	総務係、各支所担当
実施内容	1. 目 的 本会の福祉事業を推進する上で貴重な財源となっているので、本所・各支所で受付を行っている。		
	2. 内 容 香典返し寄付金及び一般寄付金の受付		
	3. 実 績		
	【香典返し寄付金】		
	年 度	件 数	金 額
	令和5年度	229件	3, 892, 600円
	令和4年度	235件	3, 850, 077円
	対前年比較	6件の減	42, 523円の増
	【一般寄付金】		
	年 度	件 数	金 額
令和5年度	9件	371, 846円	
令和4年度	6件	151, 000円	
対前年比較	3件の増	220, 846円の増	
【香典返し寄付金へ弔慰品】 線香セット			
令和5年度 延209個			
令和4年度 延220個			
特記事項 (課題等)	・香典返しの件数は減少しているものの、寄付金額は前年度に対して増加した。今後も地域福祉活動を行う上で貴重な財源なので、協力をお願いしていく。		

令和5年度 事業報告

事業名	社協広報誌「社協だより(絆)」の発行		
発行	年6回(奇数月)		
依頼先	市内各区長		
配布先	市内全戸、広告掲載事業所	担当者	広報委員、総務係
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発		
実施内容	1. 目的 広報誌で社協の事業や取り組みなどを紹介し、市民の地域福祉活動への理解を深めてもらう。 2. 内容 ・年6回(奇数月)発行。区長文書発送により、市内全戸へ配布。 ・社協事業、取組み事例、ボランティア情報、イベント情報等を掲載。 ・印刷代の一部は、赤い羽根共同募金配分金で行った。 3. 発行日(年6回) 5月19日・7月20日・9月20日・11月20日・1月19日 3月19日 4. 発行部数 5・7月号 各16,500部 9・11・1・3月号 各16,600部 5. 広告費収入 50,000円×年5回=250,000円 20,000円×年1回= 20,000円 市内の福祉施設・医療機関・行政書士の広告を掲載。		
特記事項(課題等)	・ホームページにも社協だよりを掲載し福祉情報を発信した。 ・5月号(103号)まで各号12ページで発行していたが、原材料の高騰により7月号(104号)より8ページで発行した。 ・これからも、市民の皆様へ福祉情報の提供を行い、社協活動の啓発を行っていく。		

令和5年度 事業報告

事業名	日本赤十字社事務の協力														
期 間	会費募集期間 5月														
依 頼 先	小城市内各区長														
対 象 者	市内全世帯	担当者	総務係、各支所担当												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発														
実施内容	1. 目 的 日本赤十字社は、国の内外において災害や紛争などによる被災者や難民を救援するため、医療救護班の派遣や資金・物資の提供など人道的事業の活動を行っている。これらの事業を実施するために日赤会費納入の協力を行う。 2. 内 容 ・市内181の行政区の区長へ依頼。 ・一世帯あたり 600円の日赤会費のお願いをする。 3. 日赤会費実績 <table><tr><td>年 度</td><td>世帯数</td><td>金 額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>12, 138世帯</td><td>7, 282, 500円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>11, 991世帯</td><td>7, 194, 900円</td></tr><tr><td>比 較</td><td>147世帯の増</td><td>87, 600円の増</td></tr></table> 4. 災害・火災見舞金品の贈呈（火災 2件 3棟全焼） 救急セット 2組 毛 布 4枚 バスタオル 4枚 日赤県支部より火災見舞 全焼 20, 000円			年 度	世帯数	金 額	令和5年度	12, 138世帯	7, 282, 500円	令和4年度	11, 991世帯	7, 194, 900円	比 較	147世帯の増	87, 600円の増
年 度	世帯数	金 額													
令和5年度	12, 138世帯	7, 282, 500円													
令和4年度	11, 991世帯	7, 194, 900円													
比 較	147世帯の増	87, 600円の増													
特記事項（課題等）	・災害義援金受付窓口を設置中														

令和5年度 事業報告

事業名	赤い羽根共同募金・地域歳末たすけあい募金		
期 間	募金運動 10月～12月 配分事業:通年		
依 頼 先	戸別募金 小城市内各区長 市内の企業・事業所、学校等の職域		
対 象 者	市内全世帯 企業・事業所、学校の従事者	担当者	各支所、総務係、ボランティア担当
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 社会福祉協議会の充実と地域福祉活動の広報・啓発		
実施内容	1. 実施内容		
	戸別募金 市内181の行政区の区長へ依頼。 一世帯あたり、赤い羽根共同募金 350円、 地域歳末たすけあい募金 100円をお願いする。		
	法人募金 口座振込での納入を依頼する。		
	学校・職域募金 資材購入等による募金の依頼する。		
	2. 募金実績		
	【赤い羽根共同募金】		
		令和5年度	令和4年度
	戸別募金	4,319,000円	4,329,200円
	法人募金	696,450円	731,703円
	資材・職域募金	491,577円	547,816円
	学校募金	211,482円	165,389円
	個人募金・利息他	27,527円	36,451円
	合 計	5,746,036円	5,810,559円
	※前年度より64,523円の減		
	【地域歳末たすけあい募金】		
	令和5年度	令和4年度	
戸別募金	1,233,700円	1,236,000円	
個人・団体	84,516円	60,675円	
合 計	1,318,216円	1,296,675円	
※前年度より21,541円の増			
【地域歳末たすけあい募金 配分報告】			
市内全幼稚園・保育園へ遊具贈呈	325,560円		
地域ふれあいサロン助成金(25か所)	350,000円		
子育てサロン(おもちゃ、ベビーカーなど)	248,116円		
新生児誕生祝絵本の贈呈	260,480円		
生活支援のための食料品備蓄	136,869円		
合 計	1,321,025円		
特記事項 (課題等)	・赤い羽根共同募金は、区長会や民生委員・児童委員、ボランティア協議会、各種団体などのご協力をいただいています。これからも、共同募金運動の必要性について、ご理解をいただけるよう周知を行っていく。		

地域福祉活動事業

(P 7 ～ P 2 6)

令和5年度 事業報告

事業名	民生委員児童委員連絡協議会への支援		
期 日	通年		
担当者	総務係 原、各支所民協担当		
地域福祉活動計画	基本目標	気軽に相談できる環境づくり	
	基本施策	民生委員・児童委員の活動支援	
実施内容	1. 目 的		
	民生委員・児童委員92人(民生委員・児童委員84人、主任児童委員8人)相互の親睦を図り、民生委員信条に則り、地域福祉の健全な発展・向上に寄与する。		
	2. 内 容		
	①民生委員・児童委員の資質向上を図るための研修会等の実施		
	②地域福祉に関係ある行政機関及び諸団体との連絡、提携及び協力		
	③民生委員・児童委員相互の親睦、連携を図るための事業		
	④一斉改選に伴う新任民生委員・児童委員、主任児童委員へ社協との関わりの説明やフォローアップ等		
	⑤その他、目的達成のために必要な事業		
	3. 活動内容		
	(1)総会の開催		
日時 4月20日(木)			
場所 ドウイング三日月「多目的ホール」			
(2)市民協役員会			
第1回 6月7日(水) 小城保健福祉センター「桜楽館」 研修室			
第2回 8月2日(水) " 研修室			
第3回 10月4日(水) " 研修室			
第4回 12月6日(水) " 研修室			
第5回 2月7日(水) " 研修室			
(3)研修会等			
①全体研修会(総会終了後)			
日時 4月20日(木)			
場所 ドウイング三日月「多目的ホール」			
演題 「人の話をきくということ」			
講話 社会福祉法人佐賀いのちの電話			
研修委員長 高 橋 幸 市 氏			
②心豊かな子どもを育てる運動研修会			
日時 9月6日(水)			
場所 小城保健福祉センター「桜楽館」多目的ホール			
演題 「民生委員活動の役割と地域・関係機関との連携」			
講師 九州大谷短期大学 福祉学科			
学科長 教授 中 村 秀 一 氏			

	③令和5年度 民生委員・児童委員セミナー 日時 11月15日(水) 場所 ホテルマリターレ創世 佐賀 ④第92回全国民生委員児童委員大会 日時 11月20日(月)～22日(水) 場所 広島グリーンアリーナ(広島県広島市) ⑤中堅民生委員・児童委員研修会 日時 12月21日(木) 場所 佐賀市文化会館「大ホール」 ⑥全国民生委員指導者研修会 日時 1月30日(火)～2月2日(金) 場所 ロフォス湘南(神奈川県三浦郡葉山町) ⑦主任児童委員研修会 日時 3月13日(水) 場所 アバンセホール 4. 各町単位民生委員児童委員協議会の運営 役員会、定例会などの実施
特記事項 (課題等)	令和4年12月の一斉改選により新任の委員が多かったため、総会終了後の研修会や心豊かな子どもを育てる運動研修会で活動に必要な基礎的な知識を学んだ。 今後も各町の民児協事務局業務を通じて、より民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援し、連携を取りながら地域福祉の推進に努めてく。

令和5年度 事業報告

事業名	児童遊園地施設整備(新設・補修・撤去)助成																	
期 日	通年																	
場 所	小城市内全域																	
担 当 者	地域福祉推進係 陣内																	
実施内容	1. 目 的 小城市内の区が管理する児童遊園地遊具の新設、補修及び撤去事業に対し、その経費の一部を助成することで児童の健全育成に寄与することを目的とする。 2. 助成基準 ①新設する場合は、総事業費の3分の2で 30万円を限度とする。 ②補修する場合は、総事業費の2分の1で 8万円を限度とする。 ③撤去する場合は、総事業費の2分の1で 5万円を限度とする。 3. 実績(新設 1件、補修 0件、撤去 1件) <table><thead><tr><th>区分</th><th>助成地区</th><th>助成額</th></tr></thead><tbody><tr><td>新設</td><td>三日月町:西分</td><td>300, 000円</td></tr><tr><td>補修</td><td></td><td>0円</td></tr><tr><td>撤去</td><td>芦刈町:永田</td><td>38, 000円</td></tr><tr><td colspan="2">助成額計</td><td>338, 000円</td></tr></tbody></table>			区分	助成地区	助成額	新設	三日月町:西分	300, 000円	補修		0円	撤去	芦刈町:永田	38, 000円	助成額計		338, 000円
区分	助成地区	助成額																
新設	三日月町:西分	300, 000円																
補修		0円																
撤去	芦刈町:永田	38, 000円																
助成額計		338, 000円																
特記事項	遊具の状況確認を行い、緊急性や危険性などを勘案し助成をしている。毎年度、一定の相談があり今後も必要な事業と考えられるため、共同募金等の財源確保に努める必要がある。																	

令和5年度 事業報告

事業名	新生児祝い品贈呈事業
期 日	通年
配布場所	小城市役所 西館 市民課窓口
担当者	地域福祉推進係 生山・陣内
実施内容	1. 目 的 新生児の健全な育成と親子の絆づくりを目的とする。 2. 内 容 出生届の提出の際に、読んで聞かせたい絵本を贈呈する。 3. 対象者 新生児の保護者 4. 主 催 小城市社会福祉協議会 5. 市の窓口設置数 270冊(令和4年度 490冊)
特記事項 (課題等)	絵本の読み聞かせが、子どもの健全な発達を助長になることや親子の絆を深める大切な時間へと繋がる。 2人目、3人目の誕生時にも対応できるように5種類の絵本を取り揃え、好きな絵本を選ぶことが出来るようにしている。 今後も喜ばれるようにしていきたい。

令和5年度 事業報告

事業名	地域ふれあいサロン事業(各地区公民館で自主運営)		
期 日	通年		
開催場所	小城市内各地区 公民館		
対象者	各地区(自治会高齢者)、老人会等	担当	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	1. 目 的 各地区で、高齢者の通いの場(ふれあいサロン)をつくることで、住民同士のつながりと助け合い活動の普及をする。 2. 内 容 各地区の公民館に出向き、健康・福祉の情報提供や住民同士の助け合い活動の必要性について認識してもらえよう説明をする。 テーマ ・地域の交流について ・介護予防・認知症予防の体操・運動について		
活動概要	【活動内容】 ・各地区公民館へ出向き、介護予防・認知症予防や福祉・健康についての情報提供、レクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。 ・参加者から気がかり情報を聴き、関係機関と連携して支援をしている。 【効果】 ・介護予防・認知症予防について、専門的な情報を聞いたり効果的な体操をしたりといった早期に取り組むことの必要性が理解されてきている。 ・地区での住民同士の交流の場・通いの場づくりに対して取り組む意識が向上している。 ・ふれあいサロンへの参加が、介護予防・認知症予防・閉じこもり防止につながっていることが認識されている。 【課題】 ・ふれあいサロンの必要性は理解されても、自主的に運営を行っていく世話役(リーダー的存在)となる人が少なく、参加者の高齢化もあり、地区で主体的に取り組みやすい方法や考え方の支援・検討が必要だと思われる。 ・今後も感染症の予防に努めながら活動を行う必要がある。		

地域ふれあいサロン実績報告(各地区公民館で自主運営)

	実施地区	実施回数	参加者数	各町内訳			
				【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
令和5年度	48地区	529回	4,328人	19地区	14地区	9地区	6地区
				211回	151回	99回	68回
				1,472人	1,034人	1,354人	468人
令和4年度	46地区	461回	4,033人	19地区	14地区	8地区	5地区
				190回	133回	85回	53回
				1,467人	919人	1,257人	390人

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施か所	実施回数	参加者数	各町センター内訳			
				【桜楽館】	【ゆめりあ】	【アイル】	【ひまわり】
				月・水・金	開催なし	水曜日	水曜日
令和5年度	2か所	135回	1,041人	95回		40回	
				915人		126人	
令和4年度	3か所	141回	868人	93回		37回	11回
				711人		134人	23人

令和5年度 事業報告

事業名	弁護士無料法律相談の開設																							
期 日	通年	担当者	地域福祉推進係 生山・陣内 各支所担当者																					
開催場所	社会福祉協議会 各支所(月1回 各町まわし)																							
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進																							
実施内容	1. 目 的 家庭・金銭・相続・登記などの法律に関する困りごとや心配ごとに対し、弁護士が指導および助言を行い、その問題の解決又は解決の糸口となることを目的として開設する。 2. 内 容 1回につき6人まで(1人30分以内)を限度に、法律に関する困りごとに対して、小城市内に事務所を置く弁護士による法律相談支援を行う。 3. 対象者 小城市内在住者 4. 利用料 無料 5. 主 催 小城市社会福祉協議会 6. 協 力 法律事務所かくすけ、吉丸法律事務所 7. 予算額 360, 000円 (10, 000円×3時間×12人) 8. 相談実績 <table><tr><td></td><td>開催回数</td><td>相談者数</td></tr><tr><td>小城町</td><td>3回</td><td>15人</td></tr><tr><td>三日月町</td><td>3回</td><td>18人</td></tr><tr><td>牛津町</td><td>3回</td><td>14人</td></tr><tr><td>芦刈町</td><td>3回</td><td>18人</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>12回</td><td>65人</td></tr></table> <table><tr><td>令和4年度</td><td>12回</td><td>65人</td></tr></table>				開催回数	相談者数	小城町	3回	15人	三日月町	3回	18人	牛津町	3回	14人	芦刈町	3回	18人	令和5年度	12回	65人	令和4年度	12回	65人
	開催回数	相談者数																						
小城町	3回	15人																						
三日月町	3回	18人																						
牛津町	3回	14人																						
芦刈町	3回	18人																						
令和5年度	12回	65人																						
令和4年度	12回	65人																						
特記事項 (課題等)	前年度と同じく、継続相談時の利用者の利便性などを考慮し、小城市内で法律相談をされている弁護士の方に協力いただき事業を実施した。相談者は令和4年度と同等であった。																							

令和5年度 事業報告

事業名	第11回小城市福祉大会
日時	令和6年1月28日(日) 9時30分から12時00分まで
場所	小城保健福祉センター「桜楽館」多目的ホール、駐車場、自楽園
参加人員	308人
担当者	地域福祉推進係 陣内
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 福祉の啓発と福祉教育の推進
実施内容	1. 目的 少子高齢化の急速な進展に加えて、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が問題になっているなかで、市民と様々な関係団体とが協働し、社会全体で支えあっていく仕組みを構築していくことが急務となっている。 このため、より身近な地域で市民同士が支えあう力を引きだし、誰もが住み慣れたまちで安心して住み続けられる福祉のまちづくりの実現を目指すことを目的として開催する。 2. 表彰 (1) 個人表彰 ① 社会福祉協議会役員及び評議員(8年以上) 2人 ② 民生委員児童委員(8年以上) 2人 ③ 福祉団体役員およびボランティア(8年以上) 5人 ④ 子育てサポーター(8年以上) 1人 ⑤ 地域福祉活動功労者 1人 計 11人 (2) 団体表彰 ① 地域福祉活動優良団体(10年以上) 7団体 ② ボランティア団体(10年以上) 1団体 計 8団体 3. 講演 講師 西九州大学非常勤講師 佐賀県医療センター好生館看護学院非常勤講師 公認心理士・臨床心理士 吉村春生 氏 演題 「心がかぜをひくとき」～“安心感”と自立 4. 表彰審査会委員 小城市社会福祉協議会 会長 古賀 敬介 小城市社会福祉協議会 副会長 今村 洋行 小城市社会福祉協議会 副会長 御厨 英正 小城市社会福祉協議会 理事 木下 隆和
特記事項	コロナ禍の長期化により、福祉大会は縮小開催で行ってきたが、6年ぶりに講師を迎え開催することができた。 今後は隔年開催する予定だが、講師や表彰者等の予算確保に努めたい。

令和5年度 事業報告

事業名	福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)																								
期 日	通年																								
担 当 者	地域福祉推進係 陣内・生山																								
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援と権利擁護の推進																								
実施内容	1. 目 的 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が低下されている方を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の援助などを行うことを目的として実施する。 2. 事業の取り組み ①佐賀県社会福祉協議会からの受託事業 ②利用者の意思に基づいた支援計画書により、生活支援員が金銭の支払いや簡単な福祉サービスの利用手続きなどを支援する。 3. 利用料 ○1時間以内 1,200円 ○以降30分毎に 600円を加算 ○生活支援員の交通費 37円/km ○貸金庫(佐賀銀行小城支店) 350円/月 ※生活保護世帯は利用料を免除 4. 現在の状況(令和6年3月31日現在) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">契 約 件 数</td><td style="text-align: center;">認知症高齢者</td><td style="text-align: center;">1 件</td><td style="text-align: center;">(生活保護受給者 0 件)</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">知的障がい者</td><td style="text-align: center;">4 件</td><td style="text-align: center;">(生活保護受給者 4 件)</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">精神障がい者</td><td style="text-align: center;">6 件</td><td style="text-align: center;">(生活保護受給者 5 件)</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">令和5年度 新規契約</td><td style="text-align: center;">4 件</td><td style="text-align: center;">(生活保護受給者 1 件)</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">令和5年度 解 約</td><td style="text-align: center;">1 件</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">年度末の生活支援員</td><td style="text-align: center;">2 人</td><td></td></tr> </table> 5. 相談件数 延べ648件(令和4年度 301件) (認知症高齢者53件 知的障がい者309件 精神障がい者284件 その他2件)			契 約 件 数	認知症高齢者	1 件	(生活保護受給者 0 件)	知的障がい者	4 件	(生活保護受給者 4 件)	精神障がい者	6 件	(生活保護受給者 5 件)	令和5年度 新規契約		4 件	(生活保護受給者 1 件)	令和5年度 解 約		1 件		年度末の生活支援員		2 人	
契 約 件 数	認知症高齢者	1 件	(生活保護受給者 0 件)																						
	知的障がい者	4 件	(生活保護受給者 4 件)																						
	精神障がい者	6 件	(生活保護受給者 5 件)																						
令和5年度 新規契約		4 件	(生活保護受給者 1 件)																						
令和5年度 解 約		1 件																							
年度末の生活支援員		2 人																							
特記事項	判断能力に不安がある方にとっては、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理など必要な事業である。年々相談件数は、増加傾向にあり令和5年度は、令和4年度より2倍以上の相談で、今後も増える見込みである。 この事業だけでは、解決できないこともあり、関係機関と連携し支援を進めていく必要がある。																								

令和5年度 事業報告

事業名	ボランティアセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・松尾
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 ボランティア活動の推進
実施内容	1. 目 的 小城市内におけるボランティア活動を推進するため、あらゆる機会を通じてボランティア活動に対する住民の関心を高め、住民のニーズを積極的に開拓する。また、活動にあたって必要な援助を行うことにより、いつでも、どこでも、誰でも、ボランティア活動に参加できる体制の整備に努め、もって地域における福祉コミュニティの形成を図る。 2. 内 容 〈ボランティア情報〉 社協だより「絆」(年6回発行)に現在のボランティアグループの情報や新登録グループの情報、イベント情報などを掲載し、普及啓発を図る。 〈ボランティアの拠点づくり〉 各町にボランティアルームを設置し、ボランティア活動の推進を図る。 〈相談・登録・斡旋〉 内容 ボランティア活動上の調整、施設への派遣依頼、学校への派遣依頼・調整、個人対応のボランティア派遣依頼・調整などボランティア活動の内容、見学等 斡旋 延べ48件 (ボランティア3件、学校6件、児童クラブ31件、施設3件、地域5件) 〈24時間テレビチャリティー募金活動支援〉 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、街頭募金や募金箱設置による活動を行うことができた。 小城中学校 (活 動 日) 8月27日(日) (活動場所) セブンイレブン小城畑田店 スーパーモリナガ小城店 三日月中学校 (活 動 日) 8月26日(土) (活動場所) ザ・ビッグ三日月店

実施内容	牛津中学校 （活動日）8月26日（土） （活動場所）スーパーモリナガ牛津店 芦刈中学校 （活動日）8月26日（土） （活動場所）セブンイレブン芦刈インター店 〈講座開催〉 ○傾聴講習会 ボランティア活動の基本である「傾聴」に関して、講義や参加者同士のグループワークを通して学び、今後のボランティア活動につなげる。 （開催日）2月8日（木）2月15日（木） （参加者）28名（延べ） ○生活支援ボランティア養成講座 地域の高齢者の生活上の困りごとを解決するボランティアの養成および現在活動されているボランティアのスキルアップを図る。 （開催日） 6月8日（木）、9月27日（水）、10月4日（水）、10月10日（火）、 10月20日（金）、10月25日（水）、10月31日（火） （参加者）延べ 69人 〈小城市ボランティア連絡協議会 事務局業務〉 小城市ボランティア連絡協議会事務局として、各団体の活動推進に寄与する。 登録グループ数 41グループ 513人（個人ボランティア含む） ・小城支部 誕生日訪問 ・三日月支部 地区の高齢者への敬老祝い、放課後児童クラブ交流会（高齢者へは会員手作りのお雛様人形、児童へはクッキーを配付） ・ボランティアフェスタ 11月27日（月） 牛津公民館で武雄市レクリエーション協会より講師を招き、昨年に引き続き、ボランティア活動に関する心構えやレクリエーション行い、会員同士の交流を行う。 〈ボランティア保険取扱業務〉 ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険、福祉サービス総合補償を取扱い、ボランティア活動時の事故等に備える。 加入者数 活動保険（延べ 390人）、行事用保険（14件 延べ 376人）
特記事項 （課題等）	・令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたこともあり、地域、児童クラブ等からのボランティア派遣依頼があった。 ・養成講座等は感染症対策を徹底し開催した。 ・ボランティア連絡協議会総会は役員のみで開催し、ボランティアフェスタは感染症対策を行いながら、多くの会員の参加を得て実施することができた。 ・前年度に引き続き、会員の高齢化によりいくつかのボランティア団体が活動休止、解散となった。今後はボランティアセンターとしてボランティア活動の意義や楽しさを再確認していただく機会を提供し、再度ボランティア活動が盛り上がるように努めていきたい。

令和5年度 事業報告

事業名	学校ボランティア育成事業
担当者	地域福祉推進係 井上、松尾
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 福祉啓発と福祉啓発の推進
実施内容	1. 目 的 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。 そのため次代を担う、児童・生徒に対し、福祉教育の充実とボランティア活動(市民活動)の機会や地域の人との交流を深め、たくましく豊かな心を育むことを目的とする。 2. 内 容 市内の小・中学校及び高等学校14校をボランティア活動協力校に指定し、各学校独自に計画したプログラムを実施するための費用を助成する。 また、社会福祉協議会として各学校のプログラムに協力し、高齢者・障がい者の理解につながる支援・指導を行う。 3. 参加対象者 市内小・中学校及び高等学校のボランティア担当教諭および児童・生徒 4. 主 催 小城市社会福祉協議会 5. 予 算 550,000円(活動助成金)
特記事項 (課題等)	・学校ボランティア連絡会は学校側に聞き取りを行ったところ、説明がなくても手続きを進められる学校が多かったため、申請書類の送付及び必要な学校への個別訪問を行った。 ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、昨年よりも校外活動を実施し地域との交流を行われる学校が増えてきた。

令和5年度 小城市学校ボランティア育成事業協力校 助成金交付一覧

学校名	助成額	主な活動
桜岡小学校	40,000円	花の植え替え 募金活動 小城ルーテルこども園・ゆめぷらっとへのプランタープレゼント
岩松小学校	40,000円	ベルマーク、テープの巻き芯集め 募金活動 環境美化活動 校内清掃
晴田小学校	40,000円	花いっぱい運動
三里小学校	40,000円	花いっぱい運動 環境美化活動 全校クリーンタイム 回収活動 三里支館・保育園へのプランタープレゼント
三日月小学校	30,000円	福祉体験学習 環境美化活動 募金活動 公共施設の清掃活動
牛津小学校	40,000円	環境美化活動 募金活動 アルミ缶回収
砥川小学校	40,000円	環境美化活動 募金活動 石山のペンキ塗り 石工の里保存を訴えるカレンダー作りと募金活動
芦刈観瀾校小学部	40,000円	ベルマーク、ペットボトルキャップ回収 ワールドギフト 花いっぱい運動
小城中学校	40,000円	花いっぱい運動 共同募金 24時間テレビチャリティー募金
三日月中学校	40,000円	ボランティア清掃活動 ユニセフ募金 花植え 24時間テレビチャリティー募金活動
牛津中学校	40,000円	募金活動 花いっぱい運動 24時間テレビチャリティー募金活動
芦刈観瀾校中学部	40,000円	ダルニー奨学金 ワールドギフト 回収活動 花いっぱい運動 クリーン作戦
小城高等学校	40,000円	募金活動 地域の河川清掃(春・秋) 小城駅清掃 幼稚園・保育園でのボランティア活動 町内イベントのお手伝い
牛津高等学校	40,000円	スクールプロジェクト コンポストの設置 お弁当掛け紙絵 家庭クラブエコバッグ作り
計	550,000円	

令和5年度 事業報告

事業名	福祉教育推進事業
担当者	地域福祉推進係 井上、松尾
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 福祉の啓発と福祉教育の推進
実施内容	1. 目 的 少子高齢化の急速な進展に加え、核家族化の進行により家庭環境の変化と地域力の低下が進む中、市民が安心・安全に豊かに生活ができるように、地域社会で顔なじみになり、お互い支え合いの仕組みを構築することが重要である。 その中で高齢者や障がい者、支援者とともに、学齢期における福祉についての学びを深めることで、排除しない地域共生社会づくりに努めることを目的とする。 2. 内 容 小城市人権擁護委員や障がい当事者、障がい者の支援を行うボランティアグループなどと協力し作ったプログラム(導入～体験～振り返りまとめ)を小城市内小・中学校へ配付し、希望される学校へ出向き、学びの授業を行う。(各単元の講師は社協、ボランティアで行う。) 3. 参加対象者 市内小・中学校 児童・生徒 4. 主 催 小城市社会福祉協議会
特記事項 (課題等)	・現在、全社協主催の全国福祉教育推進員研修を通じて、社協が行う福祉教育が進められており、佐賀県においても「福祉教育実践研究会」が開催されている。小城市では障がい者への間違った理解(障がい者は何もできない、かわいそうといった理解)につながらないように、福祉概念の理解や当事者本人による講話や体験を通じた理解などの振り返りを行うプログラムを作成し、福祉教育を進めていくことになった。 ・令和5年度も昨年度に引き続き、各講座の講師が独自に考え、受け持つ内容がより充実するように実施していただいた。 ・今回も学校側へ案内を行い実施を希望する学校を対象に実施した。学校の先生の社協が考える地域福祉の推進に理解を深められているように感じた。

福祉教育推進事業 プログラム

項目	目的・内容	講師
【導入】 地域に住む人の暮らしを知る	【講話・グループワーク】 地域には様々な人(子どもや高齢者、障がい者)と一緒に暮らしていること、人とは感じ方、考え方が違うことを知り、他者を思いやれるようになること。	社協 人権擁護委員
【理解】 日常生活の困りごとを知る。	【講話・交流・体験】 ろうあ者・ボランティアが学校へ訪問し、耳が聞こえない中での生活や困りごと、健常者と変わらず出来ることなどを聞き、交流することで、障がい者に対する理解を深める。	社協 障がい当事者 ボランティアグループ
【体験】 日常生活での障がい者体験を行う。	【講話・体験活動】 ①視覚障がい者の生活体験(講話・アイマスク体験) ②身体障がい者の生活体験(講話・車いす体験) ③障がい者スポーツ体験(講話・ボッチャ体験) ④地域の高齢者との交流(高齢者宅訪問)	社協 障がい当事者 ボランティアグループ 佐賀県パラスポーツ協会 民生委員・児童委員
【振り返り】 振り返り発表会	【振り返り】 これまでの講話、体験で感じたこと、これから行えることなどをまとめ、発表することで、子ども自身の学びをさらに深める。	これまでの講師

令和5年度 実施校

学校名	期 日	内 容	講 師
桜岡小学校	6月7日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月20日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	6月29日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	7月3日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	12月19日	振り返り発表会	社協
岩松小学校	6月5日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月13日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	6月21日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	6月27日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	7月4日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	7月12日	高齢者宅訪問	社協 小城町民生委員
晴田小学校	5月31日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	6月6日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 ガイドヘルプボランティア
	6月16日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	6月22日	障害者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	7月13日	振り返り発表会	社協

学校名	期 日	内 容	講 師
三日月小学校	10月6日	福祉・人権について講話	社協 人権擁護委員
	10月17日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	10月30日	視覚障がい者生活体験(アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	11月7日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	11月21日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
牛津小学校	6月15日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	7月11日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	10月12日	障がい者スポーツ体験(ボッチャ)	社協 佐賀県パラスポーツ協会
	10月26日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	11月2日	身体障がい者の生活体験(車いす)	社協 障がい当事者
	11月30日	振り返り発表会	社協
砥川小学校	6月28日	福祉・人権についての講話	社協 人権擁護委員
	7月 4日	ろうあ者の生活についての講話 手話学習	社協 小城市手話サークル
	7月14日	視覚障がい者の生活体験 (アイマスク)	社協 ガイドヘルプボランティア
	9月21日	身体障がい者生活体験(車いす)	社協 障がい当事者

令和5年度 事業報告

事業名	支えあいセンター事業
期 日	通年
担 当 者	地域福祉推進係 井上・江副
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進
実施内容	1. 目 的 一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯等の方を対象に、買い物代行やゴミ出しといった生活上のちょっとしたお困りごとや介護保険では対応できないニーズに対して、地域のボランティアの支援で解決することで、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、利用者とボランティアをつなぎ、住民相互の助け合いを推進する。 支えあいセンター活動はチケットによる有償ボランティア活動として運営する。 2. 内 容 〈利用者登録〉 ・小城市内にお住まいの一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方を対象に、センター利用について説明し、登録を受け付ける。 ・支えあいチケットを販売する。(1枚100円、10枚綴り) 〈協力ボランティア登録〉 支えあい活動に興味のある方の申し込みを受け付け、ボランティア登録を推進する。 〈調整〉 利用者からの申し出を受け、希望日に沿うようボランティアへ連絡し調整を図る。 〈活動および報告〉 ・ボランティア活動終了後は、ボランティアより電話連絡をいただくことで活動を把握している。 ・支えあい活動は10分以内100円で行う。(令和2年4月より)
特記事項 (課題等)	・令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、生活支援ボランティア活動も制限なく行えるようになった。 ・支援内容別では付き添い支援が最も多く利用されている。 ・付き添い支援で車両の自損事故が1件発生した。利用者が下車した後の事故でボランティアにはケガはなかった。付き添い支援の保険で対応した。 ・今後も各関係団体と連携して活動を推進していきたい。

支えあいセンター活動状況

○活動状況

(単位：件)

月 町名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和 4年度
小 城 町	買い物	15	13	13	15	16	13	13	13	13	11	15	14	164	138
	ゴミ出し	23	25	29	29	26	29	31	25	22	18	16	20	293	350
	付き添い	21	20	20	27	23	22	19	15	23	5	28	15	238	332
	その他	2	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	5
三 日 月 町	買い物	0	0	1	1	0	3	4	6	5	5	5	4	34	151
	ゴミ出し	8	19	14	11	14	18	20	21	19	15	21	20	200	126
	付き添い	29	15	33	25	20	21	21	23	28	19	20	21	275	265
	その他	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	5	0
牛 津 町	買い物	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
	ゴミ出し	16	14	12	13	16	15	16	14	17	15	15	13	176	203
	付き添い	34	33	22	29	23	23	22	34	24	14	24	20	302	197
	その他	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	5	0
芦 刈 町	買い物	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	37
	ゴミ出し	7	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	79
	付き添い	12	8	6	10	7	2	8	6	8	9	8	5	89	83
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	買い物	17	14	15	17	16	16	17	19	18	16	20	18	203	329
	ゴミ出し	54	64	59	53	56	62	67	60	58	48	52	53	686	758
	付き添い	96	76	81	91	73	68	70	78	83	47	80	61	904	877
	その他	2	0	2	0	0	0	2	2	3	0	4	0	15	5
令和5年度合計														1,808	1,969

○登録状況

(単位：人)

町名	種 別	令和5年度	令和4年度
小 城 町	利用者	57	53
	協力ボランティア	29	25
三 日 月 町	利用者	37	35
	協力ボランティア	17	16
牛 津 町	利用者	44	38
	協力ボランティア	22	18
芦 刈 町	利用者	15	16
	協力ボランティア	11	12
合 計	利用者	153	142
	協力ボランティア	79	71

福祉資金貸付事業

(P 2 7 ~ P 2 8)

令和5年度 事業報告

事業名	生活福祉資金貸付事業		
期 日	通年		
受付場所	小城市社会福祉協議会 本所		
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	自立支援センター相談員
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	1. 目 的 低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とする。		
	2. 内 容 佐賀県社会福祉協議会が実施する貸付事業の相談受付及び申請。		
	3. 実 績		
	相談件数		
		令和5年度	令和4年度
	総合支援資金	3件	3件
	福祉費	11件	3件
	教育支援資金	10件	13件
	療養・介護	0件	0件
	緊急小口	20件	11件
	臨時特例つなぎ資金	0件	0件
	不動産担保型生活資金	0件	0件
	特例貸付 緊急小口資金 (免除・猶予等相談含む)	69件	19件
	特例貸付 総合支援資金	0件	6件
合計	113件	55件	
申請・貸付件数			
	令和5年度	令和4年度	
申請件数	0件	26件	
貸付件数	0件	26件	
特記事項 (課題等)	・令和5年1月より特例貸付の償還が開始となり、償還困難な借受人からの相談が多く見られ対応可能な手続き(償還免除・猶予)を案内した。また、個々の状況に応じて、家計改善支援事業やハローワークや福祉事務所との連携など、今後の生活再建に向けて必要な支援を行う必要がある。		

令和5年度 事業報告

事業名	福祉資金貸付事業		
期 日	通年		
受付場所	小城市社会福祉協議会 各支所		
対 象 者	低所得世帯や障がい者世帯等	担当	生活自立支援センター相談員 各支所担当者
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	1. 目 的 小城市社会福祉協議会が、低所得世帯、障害者世帯及び母子世帯に対して資金の援助指導を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長を促進し安定した生活を営むことを目的とする。		
	2. 内 容 生活、葬祭、医療及び就学支度に必要な資金を限度額50,000円まで貸付けることができる。ただし、借入申請者は小城市内に居住する連帯保証人を付け、所定の借入申請書を担当地区の民生委員を通じて、小城市社会福祉協議会に提出する。		
	3. 実 績		
		令和5年度	令和4年度
	相談件数	11件	17件
	貸付件数	3件	0件
	貸付金額	126,340円	0円
	償還金額	106,380円	70,000円
特記事項 (課題等)	相談者の状況をしっかり把握し、個々の状況に応じて、生活自立支援センターにて支援を行い、家計改善支援事業の活用、ハローワークと連携した就労支援などを行っている。		

小城市受託事業

(P 2 9 ~ P 4 5)

令和5年度 事業報告

事業名	軽度生活支援事業及び地域生活応援業務		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	虚弱な一人暮らし高齢者等	担当者	地域生活支援課 卯野木 ・ 内川
地域福祉 活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進		
軽度生活支援 実施内容	1. 目 的 在宅の概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯等へ軽易な日常生活上の支援を行うことにより、住み慣れた自宅で自立した生活を継続するとともに、要介護状態への防止を図ることを目的として実施する。 2. 内 容 ①食事、食材の確保、調理支援 ②衣類等の洗濯 ③家屋内の整理整頓、掃除 ④その他軽易な日常生活上の支援 ⑤市役所や包括支援センター等への情報提供や相談等 3. 対象者 介護保険の要支援・要介護認定を受けていない概ね65歳以上の高齢者で、心身状態が低下し支援が必要な方。 (ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯で市に申請後該当された方) 4. 利用料 300円/時間 (超過30分毎150円) 生活保護世帯は半額 5. 利用延人数 令和 5年度年間 111人 (実人員10人) 令和 4年度年間 126人 (実人員 9人) 6. 利用延回数 令和 5年度年間 430回 令和 4年度年間 481回		
地域生活 応援業務 実施内容	1. 目 的 安否確認の訪問見守り(無料)・関係機関との連携、福祉サービスのつなぎ支援等を行う。 2. 内 容 ①訪問延件数 件/年間 稼働時間 時間 分/年間 (令和4年度件数延べ 93件/年間 稼働時間 42時間35分/年間) ②市役所や包括支援センターへ情報提供や相談等 3. 対象者 見守り支援が必要なひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯 4. 対象者数 牛津 1世帯 1人、小城・三日月・芦刈 なし 合計 1世帯 1人(令和5年9月末終了) (令和4年度 牛津 1世帯 1人、小城・三日月・芦刈 なし 合計 1世帯 1人)		
特記事項 (課題等)	・訪問時の利用者の状態観察により、必要に応じて病院受診の声掛け、ご家族や市役所、医療機関への報告を行い、状態の変化に早期対応を行う。 ・状態変化により、介護保険サービス等へ移行するケースもあり、移行時は関係機関に適切につなぐ。 ・課題を抱える方への見守り支援は、市、包括支援センター、民生委員等の関係機関と連携を図りながら、情報を共有し支援につなげる。		

令和5年度 事業報告

事業名	生きがい活動支援通所事業(南部生きがいデイサービス)																							
期 日	通年	担 当 者	地域生活支援通所係 陣内 古賀																					
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																							
参加人員	延べ 稼働 197日 延べ 1,991人 (1日平均 10.1人) (令和4年度 稼働 244日 延べ 2,181人 1日平均 8.9人)																							
地域福祉活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 交流の場の普及																							
実施内容	1. 目 的 小城市が定めた特定高齢者等に対し、積極的に筋力向上や生きがい活動を行い、生活機能の低下を防ぎ、要支援・要介護状態になることを予防する。 また、定期的な交流の場を提供することにより、閉じこもりを防止し、高齢者ができる限り自立した生活を営むことができるよう支援する。																							
	2. 登録者																							
	<table><tr><td>地区名</td><td>男 性</td><td>女 性</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>芦刈町</td><td>1人</td><td>15人</td><td>16人</td></tr><tr><td>牛津町</td><td>3人</td><td>26人</td><td>29人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4人</td><td>41人</td><td>45人</td></tr></table>			地区名	男 性	女 性	令和5年度	芦刈町	1人	15人	16人	牛津町	3人	26人	29人	合 計	4人	41人	45人	<table><tr><td>令和4年度</td></tr><tr><td>16人</td></tr><tr><td>34人</td></tr><tr><td>50人</td></tr></table>	令和4年度	16人	34人	50人
	地区名	男 性	女 性	令和5年度																				
	芦刈町	1人	15人	16人																				
牛津町	3人	26人	29人																					
合 計	4人	41人	45人																					
令和4年度																								
16人																								
34人																								
50人																								
3. 活動内容																								
<table><tr><td>(1) 元 気 アップ教 室</td><td>97日</td><td>944人</td><td>令和4年度 (966人)</td></tr><tr><td>(2) フォローアップ教室</td><td>100日</td><td>867人</td><td>(909人)</td></tr><tr><td>(3) 生 き が い 活 動</td><td>197日</td><td>180人</td><td>(306人)</td></tr></table> ①認知症予防、レクリエーション活動、趣味活動、手芸活動 ②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加 ③野外活動(年4回) 桜見物、買い物(春、秋)、梅林見物 ④消防訓練参加				(1) 元 気 アップ教 室	97日	944人	令和4年度 (966人)	(2) フォローアップ教室	100日	867人	(909人)	(3) 生 き が い 活 動	197日	180人	(306人)									
(1) 元 気 アップ教 室	97日	944人	令和4年度 (966人)																					
(2) フォローアップ教室	100日	867人	(909人)																					
(3) 生 き が い 活 動	197日	180人	(306人)																					
特記事項 (課題等)	《課題》 ・利用者の活動充実のため、外部交流やイベント等の機会を設けていく。 ・自立した在宅生活が継続できるよう、各関係機関と連携し、介護予防・認知症予防・閉じこもり予防を促進していく。 ・地域のサロンや敬老会等に出向き、利用者増に向けた周知活動を行っていく。																							

令和5年度 事業報告

事業名	若年性認知症サロン事業(オレンジサロン たいよう)																		
期 日	通年	担 当 者	地域生活支援通所係 陣内 古賀																
場 所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」																		
参加人員	延べ 稼働 23日 延べ 77人 (1日平均 3.2人)																		
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本方針 交流の場の普及																		
実施内容	1. 目 的 若年性認知症や軽度認知症の人の交流・活動の場とし、正しい知識や適切な支援を提供することで、住み慣れた地域で安心して尊厳のある生活を継続でき、また認知症の人の家族の介護負担の軽減を図ることを目的とする。 2. 登録者 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>地区名</th><th>男 性</th><th>女 性</th><th>令和5年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦刈町</td><td>0人</td><td>1人</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>牛津町</td><td>3人</td><td>3人</td><td>6人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>3人</td><td>4人</td><td>7人</td></tr> </tbody> </table> 3. 活動内容 ①体操、レクリエーション活動、趣味活動、手芸活動 ②芦刈町ひな祭り会・文化祭参加 ③野外活動(年4回) 桜見物、買い物(春、秋)、梅林見物			地区名	男 性	女 性	令和5年度	芦刈町	0人	1人	1人	牛津町	3人	3人	6人	合 計	3人	4人	7人
地区名	男 性	女 性	令和5年度																
芦刈町	0人	1人	1人																
牛津町	3人	3人	6人																
合 計	3人	4人	7人																
特記事項 (課題等)	・少人数だからこそ取り組むことのできる創作活動や外出支援、イベント等の機会を設けていく。 ・本人が住み慣れた地域で安心して生活できることや家族の介護負担軽減のためにも本人、家族、各関係機関と連携し、支援を行っていく。 ・認知症の進行具合を把握するためにも、現在よりも軽度な方を対象に実施していく。																		

令和5年度 事業報告

事業名	障害者移送サービス事業		
期 日	通年 8時30分から17時(土日、祭日、年末年始を除く)		
移送の範囲	佐賀中部広域連合構成市町内で、運送の発地又は着地のいずれかが小城市内であること。		
年間利用者	延べ 934人 (令和4年度 908人)	担当者	地域生活支援課 外野木 ・ 橋本
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進		
実施内容	1. 目的 何らかの理由により移動に困難を伴う人、公共交通機関を使用するのが困難な人に対して、車両を使って外出の支援を行う。 2. 利用できる方 小城市内に住所を有する方で、次の要件を満たす方。 ※障がい者の方（身体・療育・精神の各手帳所持が原則）や介護保険の要介護認定を受けた方で、市の利用要件に該当され、かつ公共交通機関を利用することが困難な方。 ※令和6年3月末で 43人登録(10人増 14人減) 3. 利用料 タクシー料金の概ね半額程度で、待機料金は10分毎に100円が必要。 4. 利用目的 ①病気治療(通院・リハビリ) ②買い物		
特記事項 (課題等)	・令和6年1月九州運輸局より自家用有償旅客運送者が収受する対価の取り扱いについて、当該地域に適用されるタクシー運賃の約8割で実費の範囲内と公示された。このことより、佐賀中部地区福祉有償運送運営協議会で3ヶ所の事業所がタクシー運賃の約8割程度への対価の変更について協議の申し出があり、承認された。当事業所もタクシー運賃の半額以下の対価となっていますので、小城市役所と協議の上、対価変更について検討していく予定。		

令和5年度 障害者移送サービス事業実績報告書

1. 利用実績

当初登録者数	年度中の増減	年度末登録者数	備 考
47人	△4人(10人増14人減)	43人	毎年更新の確認実施

2. 月別利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	84件	77件	74件	56件	60件	91件	
料金	55,740円	54,020円	51,460円	41,360円	47,820円	82,520円	
距離	403.0km	405.8km	374.8km	304.0km	366.2km	674.5km	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	102件	89件	73件	70件	73件	85件	934件
料金	78,800円	77,780円	56,120円	51,300円	52,120円	53,880円	702,920円
距離	597.2km	613.6km	435.5km	394.6km	396.4km	399.0km	5364.6km

＜令和4年度計＞ 908件 650,600円 4,799km

3. 事故件数 事故件数 0 件

4. 苦情件数 苦情件数 0 件

5. 利用目的別の件数 ※()内は令和4年度実績

目 的	件 数	目 的	件 数
研修会等への参加	0件(0件)	冠婚葬祭への参加	0件(0件)
レクリエーション	0件(0件)	公共機関への移送	1件(4件)
病院・施設入退院	901件(884件)	その他	22件(20件)
買い物等	10件(0件)	計	934件(908件)

6. 身体状況・態様別の件数 ※()内は令和4年度実績

状況・態様	件 数
身体障がい者	789件(699件)
要介護	73件(103件)
療育・精神	72件(106件)
計	934件(908件)

令和5年度 事業報告

事業名	愛の一声運動推進事業																				
期 日	通年	訪問連絡員数	136人																		
担当者	地域福祉推進係 井上、各支所担当																				
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 地域における見守り・支え合い体制と外出支援の推進																				
実施内容	1. 目 的 ひとり暮らし高齢者の生活状況を常時把握し、孤立感を慰め、日常生活の安全を確保する。 2. 内 容 訪問連絡員を設置し、担当世帯を定期的に訪問し対象者の話し相手や相談相手になり、生活及び健康状態を観察し、必要に応じて民生委員・児童委員などに連絡する。 年に1回訪問員に向けた研修会を行い、資質向上に務める。 3. 対象者 概ね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみ世帯 4. 協 力 訪問連絡員、民生児童・児童委員 ※()は令和4年度 <table><tr><th></th><th>訪問対象者</th><th>訪問連絡員</th></tr><tr><td>小城町</td><td>54人(54人)</td><td>50人(50人)</td></tr><tr><td>三日月町</td><td>46人(47人)</td><td>40人(40人)</td></tr><tr><td>牛津町</td><td>26人(34人)</td><td>22人(30人)</td></tr><tr><td>芦刈町</td><td>26人(26人)</td><td>24人(23人)</td></tr><tr><td>計</td><td>152人(161人)</td><td>136人(143人)</td></tr></table> (研修会) 日 時: 令和6年2月7日(水) 場 所: 小城保健福祉センター桜楽館 多目的ホール 内 容: フレイル予防、ロコモ予防について 講 師: 西九州大学 リハビリテーション学部 准教授 八谷瑞紀氏 参 加 者: 32人				訪問対象者	訪問連絡員	小城町	54人(54人)	50人(50人)	三日月町	46人(47人)	40人(40人)	牛津町	26人(34人)	22人(30人)	芦刈町	26人(26人)	24人(23人)	計	152人(161人)	136人(143人)
	訪問対象者	訪問連絡員																			
小城町	54人(54人)	50人(50人)																			
三日月町	46人(47人)	40人(40人)																			
牛津町	26人(34人)	22人(30人)																			
芦刈町	26人(26人)	24人(23人)																			
計	152人(161人)	136人(143人)																			
特記事項(課題等)	・牛津町で訪問対象者が減少した。新規登録は少なく、死亡、転居などによる登録抹消で減少した。また、元気な高齢者が多く、登録に至らないケースもある。 ・研修会は訪問員の健康維持の観点で実施した。																				

令和5年度 事業報告

事業名	高齢者ふれあいサロン事業		
期 日	通年		
場 所	小城市全域		
対 象 者	各地区の概ね65歳以上の方 (65歳未満の方も協力員として参加可)	担当者	ふれあいサロン係 野田・中原・嘉村・秋山
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	1. 目 的 家に閉じこもりがちな高齢者等へ自らが生きがいを見つけ、地域とのつながりを保ち、自立した在宅生活を確保することを支援する。 2. 内 容 各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の体操やレクリエーションの紹介、健康や福祉についての情報提供をする。 3. 実施地区 ふれあいサロン(職員派遣) 小城市 4地区 三日月町 6地区 牛津町 4地区 芦刈町 6地区 各保健福祉センターサロン 2か所 4. 参 加 費 無料(活動に伴うその他材料費等は実費負担) 5. 主 催 地区住民運営 6. 協 力 区長、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ボランティア等		
活動概要	【活動内容】 ・各地区の公民館へ出向き、介護予防・認知症予防の脳トレや体操などを実施している。 ・福祉や健康についての情報提供やレクリエーション活動、いきいき百歳体操の紹介などを行っている。 ・参加者から気がかり情報を聴き、関係機関と連携して支援している。 ・自主サロンの説明や移行支援などを行っている。 【効 果】 ・地域の住民相互の助け合いや通いの場の必要性が理解され、住民交流の場、通いの場づくりについて、地域が主体的に取り組む意識が向上している。 ・ふれあいサロンへの参加が介護予防・認知症予防につながっていることが認識されている。 【課 題】 ・気がかりな方などのニーズを発見しても、本人や家族への状況把握のためのアプローチが大変難しい。関係機関と連携して、相談支援に取り組む必要がある。 ・新規の参加者や開催地区を増やす工夫が必要だと感じる。 ・今後も感染症の予防に努めながら活動を行う必要がある。		

ふれあいサロン実績報告(各地区公民館開催)

	実施地区	実施回数	参加者数	各町内訳			
				【小城】	【三日月】	【牛津】	【芦刈】
令和5年度	20地区	206回	1,028人	4地区	6地区	4地区	6地区
				37回	62回	47回	60回
				108人	281人	291人	348人
令和4年度	27地区	265回	1,444人	6地区	7地区	6地区	8地区
				47回	65回	67回	86回
				136人	346人	477人	485人

保健福祉センターふれあいサロン実績報告

	実施か所	実施回数	参加者数	各町センター内訳			
				【桜楽館】	【ゆめりあ】	【アイル】	【ひまわり】
				月・水・金	開催なし	水曜日	水曜日
令和5年度	2か所	53回	302人	19回		34回	
				196人		106人	
令和4年度	3か所	66回	312人	24回		31回	11回
				170人		110人	32人

令和5年度 事業報告書

事業名	小城市子育て相互支援事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 船津・山田
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進		
実施内容	1. 目的 既存の保育サービスでは応じきれない保育ニーズに応え、安心して子育てできる環境づくりを目指す。病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の預かりなど多様なニーズへの対応を図ることを目的とする。 2. 事業 ①育児の支援を受けたい人と支援できる人が会員となり、ファミリーサポートセンターを仲介として、託児・送迎・家事支援等を会員同士で支え合う援助活動の調整 ②会員に対して相互援助に必要な講習会の開催 ③会員の交流を深め、情報交換のための交流会の開催 ④子育て支援関連施設・事業と連絡調整 3. 活動内容 ①保育施設の時間外や学校の放課後などの子どもの預かり ②冠婚葬祭や買い物等外出の際の子どもの預かり ③学校・保育施設などの送迎 ④出産前後の家事支援 ⑤軽度の病児・病後児の預かり 4. 登録者数 利用会員 596人、協力会員 48人 5. 活動実績 1,484件、時間 4,613時間20分 (送迎託児 79件、送迎 371件、託児 1,034件、家事 0件) (令和4年度 1,758件、時間 4,494時間58分) 6. 研修会 ・サポーター養成講座 9月22・26・28、10月3・5・16・20日、2月16日 11講座に32人参加(新規修了者 6人) ・協力会員研修 3月15日 小城保健福祉センター「桜楽館」で情報交換会 18人参加 7. 利用料金 平日の8時から18時は原則1時間 400円(利用者負担) (※市から1時間あたり 200円の補助あり)		
特記事項 (反省・課題)	・市外への新規の「送迎」は対応できていない。送迎の1キロあたり25円は見直しが必要。 ・特別な支援の必要な子どもや親に対応できるスタッフおよびサポーターのスキル向上をめざす。 ・利用会員だった人が協力会員に登録してくれて両方会員として活動している。 ・待ちの支援からプッシュ型支援やアウトリーチ型支援も視野に入れていく。		

令和5年度事業報告書

事業名	小城市地域子育て支援拠点事業		
日時	通年	担当者	地域福祉推進係 木塚・山田・中村(真)
地域福祉 活動計画	基本目標 みんなで支える地域づくり 基本施策 交流の場の普及		
実施内容	1. 目的 子育て中の親の孤独感や不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。 2. 事業 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言を行う。 3. 活動内容 ・桜楽館(小城保健福祉センター) 毎週月曜日・金曜日(10:00～12:00)・水曜日(10:00～15:00) ・ひまわり(芦刈保健福祉センター) 毎週火曜日(10:00～15:00)木曜日(10:00～12:00) 4. 活動実績 ・桜楽館 2,588組(大人 2,692人 子ども 3,126人) (令和4年度 1,928組(大人 2,014人 子ども 2,269人)) ・ひまわり 864組(大人 889人 子ども 1,107人) (令和4年度 752組(大人 756人 子ども 1,089人))		
特記事項 (反省・課題)	・核家族化が進行するなか、子育ての悩みを相談できる人がいなく、ひとりで抱え込んでいる人が増えてきている。身近な相談相手になれるようにスタッフやボランティアのスキルアップを図る。 ・新型コロナが5類になり、イベントも開催し広場に足を運ぶ人が増えた。 ・初めて参加した人がまた来たいという雰囲気づくりを大切にしたい。近い月齢の方同士の会話が生まれるようなきっかけづくりを心がけたい。		

令和5年度 事業報告

事業名	小城保健福祉センター「桜楽館」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市小城保健福祉センター「桜楽館」 小城市小城町畑田750番地														
総利用人員	42, 414人	担当	地域福祉企画課、小城支所												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 交流の場の普及														
実施内容	1. 目 的 社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。 また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「桜楽館」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能になり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。 2. 管理内容 平日、日中の管理人1人と17時から19時及び土・日曜日・「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。 3. 利用実績 <table><tr><td></td><td>利用者数</td><td>利用料金</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>42, 414人</td><td>1, 079, 636円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>65, 471人</td><td>1, 009, 974円</td></tr><tr><td>前年対比</td><td>23, 057人の減</td><td>69, 662円の増</td></tr></table> ※利用者減は、新型コロナのワクチン集団接種が終了したため。				利用者数	利用料金	令和5年度	42, 414人	1, 079, 636円	令和4年度	65, 471人	1, 009, 974円	前年対比	23, 057人の減	69, 662円の増
	利用者数	利用料金													
令和5年度	42, 414人	1, 079, 636円													
令和4年度	65, 471人	1, 009, 974円													
前年対比	23, 057人の減	69, 662円の増													
特記事項 (課題等)	① 経営状況について 令和5年度よりお風呂の営業時間を短縮して経費削減に努めた。そのため、年間の浴室の利用者数は4, 443人で600人ほど少なくなった。 ② 災害時自主避難所について 令和5年度の拠点避難所は、「ゆめぷらっと小城」へ変更されているため、避難所開設はなかった。令和6年度より拠点避難所は「桜楽館」となる。														

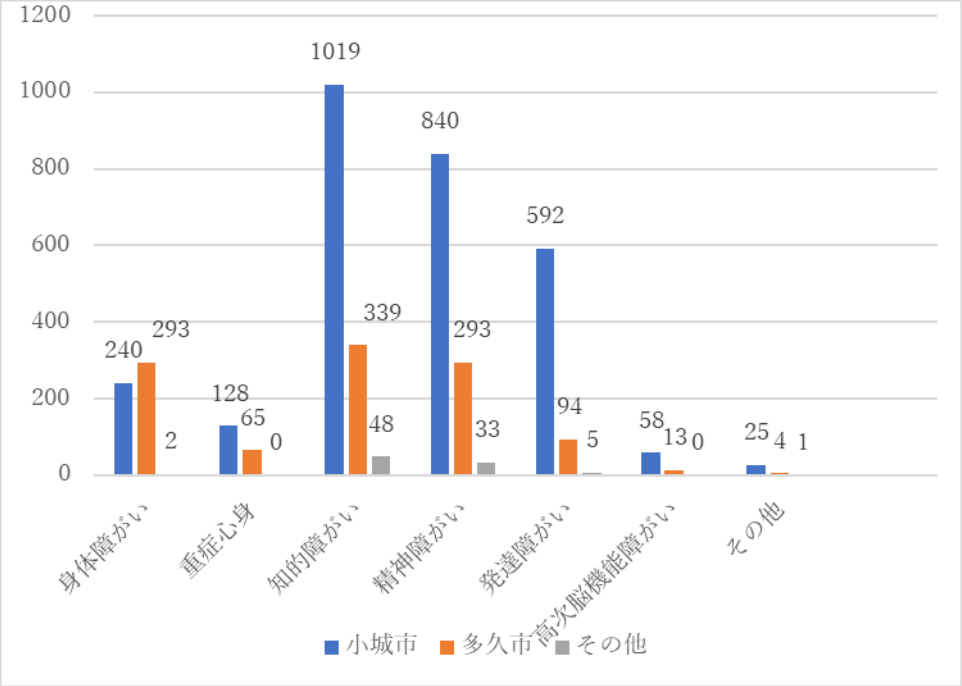
令和5年度 事業報告

事業名	芦刈保健福祉センター「ひまわり」の管理・経営														
期 日	通年														
場 所	小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」 小城市芦刈町三王崎1522番地														
総利用人員	12, 229人	担当	地域福祉企画課、芦刈支所												
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 交流の場の普及														
実施内容	1. 目 的 社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図る。 また、各福祉団体やボランティアグループ及び子育て支援事業の拠点として利用されている「ひまわり」を社協が管理することによって、より以上に地域住民や各種団体と連携・協働が可能となり、小城市地域福祉活動計画に基づく「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる健康・福祉のまち 小城」を推進する。														
	2. 管理内容 平日・日中の管理人1人と17時から19時及び土・日曜日・「国民の祝日」に対応した日々雇用の職員4人を配置して管理している。その他に管理業務や運営業務は、社協職員が兼務している。														
	3. 利用実績														
	<table><tr><td></td><td>利用者数</td><td>利用料金</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>12, 229人</td><td>189, 600円</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>23, 222人</td><td>136, 760円</td></tr><tr><td>前年対比</td><td>10, 993人の減</td><td>52, 840円の増</td></tr></table>				利用者数	利用料金	令和5年度	12, 229人	189, 600円	令和4年度	23, 222人	136, 760円	前年対比	10, 993人の減	52, 840円の増
		利用者数	利用料金												
	令和5年度	12, 229人	189, 600円												
	令和4年度	23, 222人	136, 760円												
前年対比	10, 993人の減	52, 840円の増													
※利用者減は、新型コロナの集団接種が終了したため。															
特記事項 (課題等)	① 経営状況について 令和5年8月にボイラーが故障して、それ以降お風呂の営業ができなかった。														
	② 災害時自主避難所の対応について 令和5年度は大雨や台風接近のため、3回自主避難所を開設した。令和6年度も災害発生が予測される場合は、市と協力して避難所開設を行う。														

令和5年度 事業報告

事業名	高齢者生きがいづくり講座事業				
期 日	通年	参加人数	494人		
場 所	小城保健福祉センター「桜楽館」(3講座)、牛津公民館別館(1講座)、小城市役所別館(1講座)				
担当者	地域福祉推進係 生山・陣内				
地域福祉活動計画	基本目標	みんなで支える地域づくり			
	基本施策	交流の場の普及			
実施内容	1. 目 的 高齢者の生きがいと社会参加を促進するために、高齢者の趣味活動の普及および創作活動の振興などにつながる講座を開催する。				
	2. 内 容 ボランティアで行っていただいている講師の指導のもと、毎月1～3回の講座を開催して趣味活動や創作活動を行い、交流を深めながら外出の機会を増やす。				
	3. 対象者 概ね65歳以上の小城市内在住者				
	4. 参加費 無料(材料費などの実費は本人負担)				
		講座名	受講者数	回数(延)	参加人数(延)
	小城	高齢者スマホ教室	16人	3回	49人
		写真教室	7人	7回	37人
		健康マージャン教室	20人	7回	60人
	三日月	園芸教室	23人	10回	200人
	牛津	健康マージャン教室	28人	11回	148人
合計		94人	38回	494人	
令和4年度		118人	87回	679人	
特記事項(課題等)	・令和5年度は、桜楽館の冷暖房機器が故障し、講師と相談して夏場・冬場の活動を中止する講座があった。 ・新規講座として、スマホ教室を開催できた。開催の周知後から多くの受講希望があり、受講者は和気あいあいとした雰囲気の中、積極性が高い講座であった。 ・事業終了に伴い、各講座の講師と受講者と相談し、自主サークル化や、講座終了へとなった。				

令和5年度 事業報告

事業名	小城・多久障害者相談支援事業																																		
期 日	通年	担当者	小城・多久障害者相談支援センター 土岐、佐々木、大垣内、古賀、野中、龍野																																
設置場所	小城市保健福祉センター「桜楽館」内																																		
実施地域	小城市・多久市																																		
地域福祉活動計画	基本目標:安心して暮らせる地域づくり 基本施策:相談支援と権利擁護の推進																																		
事業内容	1. 事業 ①障害者相談支援センター事業 ②障害者虐待防止センター事業 2. 事業内容 障がいのある方、家族等の地域における生活を支援するため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、介護相談、権利擁護のために必要な援助、専門機関等の情報提供等を行う。夜間を含めて緊急に対応が必要となる場合における相談支援、関係機関との連絡・調整を行うと共に、障がい者虐待に関する通報届出の窓口や、指定特定相談支援・障害児相談支援として福祉サービスの利用計画の作成等の支援を行う。 3. 活動状況 (1)総合相談 ・相談受付件数 延べ4,092件(小城2,902件 多久1,101件 他89件) 【R4年度 3,893件(小城2,893件 多久940件 他60件)】  <table border="1"> <caption>相談受付件数 (R4年度)</caption> <thead> <tr> <th>障がい種別</th> <th>小城</th> <th>多久</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障がい</td> <td>240</td> <td>293</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>重症心身</td> <td>128</td> <td>65</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>1019</td> <td>339</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>840</td> <td>293</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>発達障がい</td> <td>592</td> <td>94</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障がい</td> <td>58</td> <td>13</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> 対象障がい別の相談受付で、知的障がいの方の相談が一番多く、計1,406件、次に多いのが精神障がいの方の相談で計1,166件。前年度と比較し、身体の方の			障がい種別	小城	多久	その他	身体障がい	240	293	2	重症心身	128	65	0	知的障がい	1019	339	48	精神障がい	840	293	33	発達障がい	592	94	5	高次脳機能障がい	58	13	0	その他	25	4	1
障がい種別	小城	多久	その他																																
身体障がい	240	293	2																																
重症心身	128	65	0																																
知的障がい	1019	339	48																																
精神障がい	840	293	33																																
発達障がい	592	94	5																																
高次脳機能障がい	58	13	0																																
その他	25	4	1																																

事業内容	相談で138件、発達障がいの方で134件、知的障がいの方で43件、重症心身の方の相談で30件増加がみられた。 ・虐待相談対応件数 5件【R4年度 4件】 ・障害支援区分認定調査 109件(小城68件 多久41件)【R4年度 104件】 (2)地域生活支援拠点事業 ・地域生活支援拠点コーディネーター業務として常時の連絡体制の確保 ・短期入所事前登録調査票の作成や保管(小城市16件・多久市1件) (3)指定特定相談支援・指定障害児相談支援 ・サービス等利用計画作成 214件(小城141件 多久73件)【R4年度203件】 ・モニタリング 376件(小城266件 多久110件)【R4年度340件】 (4)研修会等への参加・講師派遣等 ・佐賀県相談支援事業連絡協議会 (年4回) ・佐賀県強度行動障害支援者養成研修(実践研修)(ZOOM 研修) ・意思決定と虐待防止に関する研修会 ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修 ・九州地区障がい者相談支援事業合同研修長崎県大会 ・佐賀県精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会 (ZOOM 研修) ・佐賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会 ・スマートサイト研修会 ・相談支援従事者専門コース別研修 ファシリテーション研修 ・鳥栖・三養基地区 地域研修会 ・全国地域生活定着支援センター協議会 九州ブロック専門研修会 ・佐賀県精神障がい者家族相談員研修会 ・多久市民生委員児童委員勉強会(精神障害者について)(広報) (R4年は小城市民生委員児童委員勉強会にて広報行う) ・ファシリテーション・ミーティング研修 ・佐賀県自立支援協議会人材育成部会 ・佐賀県相談支援従事者初任者研修 (講義・演習講師)
------	--

令和5年度 事業報告

事業名	生活困窮者自立相談支援事業 (生活自立支援センター)	担当者	小城市生活自立支援センター 陣内・永淵・中島																																					
期 日	通年																																							
設置場所	小城保健福祉センター「桜楽館」内																																							
担当地区	小城市内全域																																							
地域福祉活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者等への相談支援連携と権利擁護の推進																																							
事業内容	平成29年度から小城市より受託し、経済的困窮や社会的孤立をしている者の相談に応じて必要な情報提供及び助言を行うとともに、継続的な支援が必要な対象者に対しては自立支援計画を作成し、生活困窮者の自立の促進を図るための支援を行う。(自立相談支援事業)。 また、離職・廃業から2年以内または休業等により収入が減少し、離職等と同程度の状況にあり、住居を喪失した者(またはおそれのある者)に対し、家賃相当分の給付金を支給することにより、これらの者の住居および就労機会の確保に向けた支援を行う(住居確保給付金)。 【新規相談件数】 <table><tr><td>小城</td><td>三日月</td><td>牛津</td><td>芦刈</td><td>その他</td><td>合計</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>27 件</td><td>12 件</td><td>21 件</td><td>7 件</td><td>0 件</td><td>67 件</td><td>59 件</td></tr></table> 【相談受付件数(延べ件数)】 <table><tr><td>小城</td><td>三日月</td><td>牛津</td><td>芦刈</td><td>その他</td><td>合計</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>340 件</td><td>168 件</td><td>515 件</td><td>93 件</td><td>292 件</td><td>1,408 件</td><td>813 件</td></tr></table> 【住居確保給付金についての相談】 <table><tr><td>相談延べ件数</td><td>36件</td></tr><tr><td>申請件数</td><td>4件</td></tr><tr><td>給付決定</td><td>4件</td></tr></table>						小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和4年度	27 件	12 件	21 件	7 件	0 件	67 件	59 件	小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和4年度	340 件	168 件	515 件	93 件	292 件	1,408 件	813 件	相談延べ件数	36件	申請件数	4件	給付決定	4件
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和4年度																																		
27 件	12 件	21 件	7 件	0 件	67 件	59 件																																		
小城	三日月	牛津	芦刈	その他	合計	令和4年度																																		
340 件	168 件	515 件	93 件	292 件	1,408 件	813 件																																		
相談延べ件数	36件																																							
申請件数	4件																																							
給付決定	4件																																							
特記事項 (課題等)	・コロナに加え、物価高騰の影響で生活に困窮する世帯が増え、相談者数は増加傾向にある状況。 ・相談者の課題は複雑化、複合化しており、解決に向けては、地域住民や地域における多様な機関、関係者の連携が不可欠ではあるが、地域の力が必要なケースもあり、今後はインフォーマルな社会資源の開拓に力を入れていく必要がある。 ・特例貸付の償還が始まったが滞納が続く対象者については複合的な課題を抱えている方も多いため、アウトリーチを行って相談機関とつながるように動いていく必要がある。																																							

佐賀中部広域連合 受託事業

(P 4 6 ～ P 4 8)

令和5年度 事業報告

事業名	南部地域包括 支援センター事業 (おたっしや本舗小城南)	担当者	地域生活支援課 外野木・鳥羽・北村(昌)・前田・北村(裕)・ 石丸・山口・末岡												
期 日	通 年														
設置場所	芦刈保健福祉センター「ひまわり」内														
担当地区	小城市南部地区 (牛津町 ・ 芦刈町)														
地域福祉 活動計画	基本目標 気軽に相談できる環境づくり 基本施策 高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者への相談支援連携と権利擁護 の推進														
事業内容	I 佐賀中部広域連合包括支援事業														
	1. 総合相談業務														
	目 的														
	地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して、その人らしい生活を継続して いけるように、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービ ス、関係機関および制度の利用につなげる等の支援を行う。														
	(1)相談支援業務														
	<table><tr><td>相 談 内 容</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>介護保険その他の保健福祉サービスに関すること</td><td>420件</td><td>445件</td></tr><tr><td>権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)</td><td>11件</td><td>7件</td></tr><tr><td>合 計</td><td>431件</td><td>452件</td></tr></table>			相 談 内 容	令和5年度	令和4年度	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	420件	445件	権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	11件	7件	合 計	431件	452件
	相 談 内 容	令和5年度	令和4年度												
	介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	420件	445件												
	権利擁護に関すること(高齢者虐待等含む)	11件	7件												
	合 計	431件	452件												
・広報:地域包括支援センターの活動や連絡先について周知を図るため、小城 市報掲載毎月1回															
(2)高齢者見守りキーホルダー事業															
内 容															
小城南部地区在住(牛津町・芦刈町)の高齢者を対象にカナミックシステム で個人情報を管理し、急変時や認知症による徘徊時に関係機関(市役所、警 察、消防、広域連合)と迅速な情報共有。															
・広報:高齢者見守りキーホルダー事業について団体などに対し出前講座等を実施 令和5年度 登録者数 計 172人 内新規登録者 13人 (令和4年度 登録者数 計 159人 内新規登録者 8人))															
2. 権利擁護業務															
目 的															
権利侵害を受けている、または受ける可能性が高いと考えられる高齢者が															

事業内容	尊厳のある生活を行うことができるよう、権利侵害の予防や対応を専門的に 行う。 3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 目 的 地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の高齢者の 状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを介護支援専門員 が実践するための地域の基盤を整えるとともに、個々の介護支援専門員へ のサポートを行う。 (1) おたっしや本舗小城南地域ケア会議の開催 目 的 高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備が同時 に図られるため、地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの実現。 《小城市南部サービスネットワーク部会：通称 ハピネット部会》 ・年2回開催ハブツリト型研修 参加者延べ人数 56人 《小城市自立支援型ケア会議 》 ・年7回開催 参加者延べ人数141人 《小城市南部地域ケア会議 》 ・年2回開催 参加者延べ人数40人 (2) 小城市在宅医療・介護連携推進協議会との連携 ・小城市在宅医療・介護連携推進協議会の啓発・広報部会、研修部会、情報 システム部会の委員として参加 ・市民公開講座実施協力、企画、広報、スタッフとして参加 (3) 民生委員・児童委員連絡協議会定例会への参加 ・牛津町定例会と芦刈町定例会へ毎月参加し、情報共有や相談支援 4. 介護予防ケアマネジメント業務 目 的 基本チェックリスト該当者(事業対象者)、要支援1, 2に対して、介護予防 および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自ら の選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サ ービス等を包括的・効率的にマネジメントを行う。 5. 生活支援コーディネーター業務 目 的 市町村が定める活動区域ごとに、関係者のネットワークや既存の取り組 み、組織等活用しながらコーディネート業務を実施することより、地域におけ る生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進。
------	---

事業内容

(1)協議体での活動

- ・第1層協議体 年1回開催
- ・第2層協議体 牛津町年2回 芦刈町年6回開催

(2)地域づくりの啓発活動

(3)地域資源の把握、ニーズ確認

- ・定期的に地域サロンや高齢者の集いの場への参加

6. 認知症地域支援業務

目 的

認知症の人とその家族の支援体制の構築および認知症ケアの向上を図る
取組み推進。

(1)医療、介護サービス、地域との有機的な連携の推進

(2)認知症ケアパス完成

(3)認知症本人、家族の居場所づくりの推進

(カフェ、サロンの啓発 随時 地域型認知症サロン 1ヶ所開催)

(4)認知症やその家族の相談や支援

(5)認知症初期集中支援チーム検討会

7. チームオレンジコーディネーター業務

目 的

認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しす
るとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備する。

(1)仕組みづくりに関する検討会の開催

- ・オレンジ座談会、情報交換会(年13回開催)

(2)チームの立ち上げ支援基盤づくり

- ・認知症サポーター養成講座(年4回)、ステップアップ講座の開催(年3回)

Ⅱ 指定介護予防支援事業

指定介護予防支援実績

	令和5年度	令和4年度
介護予防給付件数（事業委託分を含む）	2,639件	2,590件
要介護認定調査委託	7件	52件
住宅改修支援	8件	11件

介護保険事業

(P 4 9)

令和5年度 事業報告

事業名	居宅介護支援事業		
所在地	小城市芦刈町三王崎1522番地（芦刈保健福祉センター ひまわり）		
対象者	介護保険 要介護認定者		
事業の種類	居宅介護支援	担当者	地域生活支援課 牧瀬、卯野木、平野
営業時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分 但し、国民の祝日及び12月29日から1月3日までを除く		
運営方針	利用者・家族の意向を尊重し、中立公正な自立支援		
職員体制	介護支援専門員 3人《その内管理者1名兼務》		
実施地域	小城市内(原則)		
地域福祉活動計画	基本目標 安心して暮らせる地域づくり 基本施策 在宅医療・介護の連携と生活支援の充実		
実施内容	1. 方針 ①常に利用者の立場になり、利用者が住み慣れた環境の中で、自分らしく、尊厳ある生活ができるように、自立への支援に努める。 ②利用者・家族の意向や心身の状態を考慮し、保険者・地域包括支援センター・医療機関・サービス事業所等とも連携を図り、支援する。 2. 内容 ・相談援助、ケアプラン作成、サービス調整、更新認定調査等 3. 利用者 ・利用者 85人(令和4年度 70人) ・契約者 90人(令和4年度 80人) 4. 実績 ①居宅介護支援 年間 延1,032人(令和4年度 延べ938人) ＜介護度別＞介護1 延422人 介護2 延252人 介護3 延239人 介護4 延 55人 介護5 延64人 ②介護認定調査 年間 9件（令和4年度 14件） 5. 介護支援の流れ ①介護申請→認定調査→介護認定→居宅介護支援の契約 ②利用者や家族に意向確認→ケアプラン作成→サービス調整→サービス担当者会議→サービス利用開始→自宅に定期訪問→モニタリング(評価)・来月の利用票配布(利用確認)→介護請求 ③住宅改修の支援、福祉用具の購入支援、更新認定調査、相談援助等 6. 介護支援専門員の研修に参加、自立支援型ケア会議への参加 小城市南部サービスネットワーク部会への参加		
特記事項 (課題等)	・利用者や家族の意向を確認し、可能な限り自宅で自立した毎日を過ごせるように総合的な介護サービスを提供していく。その為、職員の研修やミーティングを充実させ、スキルを向上させていく。 ・BCP(事業継続計画)を策定しており、「感染症」、「自然災害」、「高齢者虐待防止」、「ハラスメント防止」について、少なくとも年1回以上は研修を行い、災害や緊急事態に際し、利用者の安全確保と必要なサービスを持続的、継続的に行える体制を整えていく。 ・事業所の運営規定の概要等を法人のホームページや介護サービス情報公表システムに掲載し事業所の情報をインターネットでも閲覧できるようにする。利用者や家族に安心感・信頼感を与えられるように努める。		